

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	代表取締役 柳澤美穂	法人・事業所の特徴	1.【個別ケア】ひとりひとりが歩んでこられた人生への理解と共感に基づき、自立支援を基盤としたケアを行います。 2.【認知症ケア】認知症の正しい理解に基づき、ひとりの「人」としての尊厳を大切にして、安心して過ごせる居場所と関りを提供します。 3.【看取りケア】穏やかな日々の暮らしの場で安らかな旅立ちが迎えられるように、さまざまな職種のスタッフが協力して、利用者様とご家族様に寄り添い支えます。 4.【地域ケア】住み慣れた地域で安心して最期まで生活が送れるように、各組織や地域住民の方々との連携を図り支えます。
事業所名	あったかほ一む桜花	管理者	小林孝章		

出席者 (構成)	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	0人	1人	人	2人	人	6人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	*自己評価を全員に配付し、改善計画を定期的に会議の中で読み上げ意思統一を図る。 また、途中経過についても確認して意見を出してもらい改善計画の取り組みを進める。	自己評価は全員に配付し改善計画の取り組みを行うことができたが、業務に追われてしまい途中経過の確認ができず思うように進められなかった。	*忙しい中でも、「できている点」「できていない点」を把握されているが、全てのテーマで同様にプランニングすることは難しいと思いますが、その理由を明確にしておくと思評価し易いと思います。 *自己評価に取り組むことにより、スタッフが自身の事業や業務を定期的に振り返る機会が持てていると思います。	*改善計画に対してスタッフ全員で取り組みを行い、定期的に会議の中で意思統一を図る。 また、事業所自己評価の「できている」「できていない」理由についても明確にする。
B. 事業所のしつらえ・環境	*引き続き玄関や施設内の飾り付けや落ち着いた居心地の良い空間作りを行う。 また、コロナ状況を見ながら無理のない行事計画の立案及び区内回覧の継続・ブログ・インスタグラム等で情報発信を行う。	*玄関にはスタッフが作るプリザーブドフラワー等を飾り、施設内の飾りも幼稚にならないように工夫している。 また、獅子舞い・秋祭り等の行事も増え、外出も行った。 *地区内は回覧板で施設新聞を廻し、ブログ・インスタグラムでも情報発信を行った。	*室内外とも、いつもきれいにされています。 *利用者だけでなく、来所者にも配慮されて施設になっていると思います。 *業務多忙な中、ブログも頻繁に更新をされていて凄く良いと思います。	*引き続き玄関や施設内の飾り付けや落ち着いた居心地の良い空間作りを行う。 また、日中は門や玄関に鍵をかけず家族や地域の方が入りやすいようにする。

C. 事業所と地域のかかわり	*コロナが5類になったので状況を見ながら、地域のイベントへの参加及び施設の行事を計画して地域の方々に参加をしてもらい交流を深める。 *回覧板の継続と何か困りごとがあった時など相談を受ける。	*地域とのイベント(夏祭り)は中止となったが、育成会の獅子舞いは実施して頂いた。少しずつであるが交流が出てきている。 また、回覧板の継続と民生委員からの相談も受けた。	*今後とも地域の方が相談しやすい場所であって頂きたい。 *事業所のスタッフが地域活動に参加している姿勢が見え辛いのかもしれませんが、地域と積極的な関わりを持つことを模索している姿勢が伺えます。	*地域の行事・イベント情報の収集をして参加を行う。 また、回覧板の継続・施設行事の計画をして地域の方々との交流を深め、心配ごと等の相談を受ける。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	*地域の民生委員と地域包括支援センターとの連携を図り、情報をもって共有しながら取り組んでいく。 *コロナが5類になったので、状況を見ながら地域の行事やイベントへの参加及び外出等を行う。	*地域包括支援センターや地域の民生委員とは、必要時に応じて連絡を取り情報共有することができた。 *地域との行事やイベント及び外出等については少しずつ参加することができた。	*感染症の状況や利用者様の重介護化・高齢化が進むと地域活動の参加は難しく限定的になることもやむを得ないと思いますが、介護度 1~2 レベルの方であれば参加される方も多々いますので、利用者様と一緒に参加されても良いかと思います。	*地域で参加できない利用者様にも事業所での行事・イベント計画を立て、重介護度の利用者様にも参加できるようにする。 また、事業所として地域包括支援センターと地域民生委員との連携をしながら、近所の心配な方との関わりを持つようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	*施設での取組みについては解りやすく説明をし、地域の心配の方や様々な話題についても話し合いを行い支援の取組みに繋げる。 *引き続き勤務調整をしてスタッフにも交替で出席してもらおう。	*第1回目から運営推進会を開催、活動状況報告を行い、様々な問題についても意見・質問等を受けることができた。 スタッフも勤務状況を見ながらできるだけ交替で出席することができた。	*2ヶ月ごとに実施、細やかに説明して頂き分かりやすい。 *今後は、以前のように地域との交流が持てるようになれば良いと思います。 *会議では市内全域の状況・情報共有も多々成される雰囲気があると常々感じています。	*施設での活動状況報告及び地域の心配の方等の事例検討や様々な話題についても話し合いを行い、出た意見も改善につなげ地域での取組みを一緒に行う。 また、スタッフにも交替で出席してもらい情報共有を図る。
F. 事業所の防災・災害対策	*引き続き、年2回災害訓練(噴火・風水害・地震等を想定)、非常食備蓄状況の確認・自家発電機の操作説明及び消防訓練を実施、うち1回は夜間想定をした緊急連絡網で連絡を実施する。(コロナが5類になったので、状況を見ながら区長・消防団・推進委員にも参加して頂く)	*5月・11月に災害・消防訓練を実施、改善計画内容については全て実施することができた。 *市の消防署員も参加いただき、指導を受けることができたが、地域の消防団・推進委員・施設近隣への参加要請はしなかった。	*災害訓練については地域の方に参加して頂けると、さらに実践的なものになると思います。 *運営推進会議1回分の話題を防災や災害対策にしても良いかも知れません。	*年2回の消防・災害訓練(通報・避難・消火・緊急連絡網での連絡及び非常食備蓄状況の確認・自家発電機の操作説明)を実施する。うち1回は消防署員に来所してもらおう。 また地区消防団・運営推進委員にも声掛けをして参加を促す。 *業務継続計画(BCP)を定期的に更新する。